

# たのはた

4

お父さん お母さん  
小学校卒業しました  
今までありがとうございました—

3月18、19日の両日、村内各小学校では最後の卒業式が行われました。18日の机小卒業式では、卒業生が両親に感謝の気持ちを込めて真っ赤なカーネーションを贈りました。

(写真は机小最後の卒業生、平坂鴻樹君とご両親)

主な内容	●平成22年度施政方針	2頁
	●村の組織再編	11頁
	●特集 小学校統合	12頁
	●村の話題	28頁

# 平成22年度 施政方針

## 村民との対話を重視し 村勢発展に大きな足跡を残せる年度に

### はじめに

平成22年第3回田野畑村議会定例会の開催にあたり、22年度当初予算案や村政の重要案件のご審議をいただくため、今後の村政運営に対する所信の一端を申し上げ、議員各位をはじめ、広く村民の皆さんの理解と協力を賜りたいと存じます。

本年度の社会経済情勢を総括すると、20年秋の「リーマン・ショック」に端を発した国際的な金融危機は、我が国にも影響を及ぼし「百年に一度の経済危機」をもたらしました。国の公共事業の縮

平成22年第3回定例村議会は3月10日に開かれ、上机莞治村長が新年度の施政方針を述べました。村づくりの方向性や新年度の主要事業など、約35分にわたった演述内容をお伝えします。

### — 施政方針目次 —

- はじめに ..... 2
- 村政運営の基本方針 ..... 3
- 総合計画の推進と新計画の策定 ..... 3
- 地域活力の再生 ..... 3
- 協働のむらづくり基本条例 ..... 4
- 教育の振興 ..... 4
- 経済対策 ..... 4
- 予算編成の方針 ..... 5
- 21年度の主要施策
  - ①活力に満ちた産業の振興 ..... 6
  - ②雇用対策から定住対策へ ..... 7
  - ③少子高齢化社会への対応 ..... 7
  - ④情報通信基盤整備の推進 ..... 8
  - ⑤道路などの社会資本整備の推進 ..... 8
  - ⑥安全な村づくり ..... 9
- 結びに ..... 10

### 村政運営の基本方針

わたしは4期目の村長就任にあたり、昨年の9月村議会定例会における所信表明で「村政の主役は村民」であること、「公平・公正をモットーとした政治姿勢」を貫くこと、「開かれた行政運営」を推進すること、そして村政運営にあたる3つの基本姿勢、「対話・協働」、「改革」について申し述べました。

さらにまた、当面する村政課題に重点的に取り組む施策として、活力に満ちた産業の振興、雇用の場の拡大、安心して子育てができる地域づくりなど、8項目について申し述べたところです。

22年度の村政運営にあたりましては、これらの基本姿勢を貫くとともに当面する村政課題に対する重要施策の展開に全力を傾注していく考えです。

### 総合計画の推進と 新計画の策定

#### (1) 計画の進捗よく状況

現在、村の総合計画は13年度から22年度までの10年間の村づくり計画です。基本理念を「参加・協働・創造による村づくり」と定め、



地域コミュニティ活動の活性化を目指してきた  
(写真は沼袋地区の世代間交流会の様子)

前期と後期の各5カ年の基本計画、各年度の実施計画によって5つの将来像に沿った総合的な村づくりに鋭意努めてきました。新年度は、現行計画の仕上げとなる最終年度であることから、各領域の事業を再チェックし、その進捗よくの精度を高めるように努めます。

総合計画の達成状況についてですが、厳しい財政状況の中で事業の緊急度や優先度、将来の村の発展に欠かすことのできない社会基盤の整備など、事業を総合的に計画・精査し、効果的な推進に努めた結果、13年度から17年度に

小・削減や事業仕分けに象徴される事務事業の見直しなども影響して、数次にわたる経済対策にもかかわらず地方経済は冷え込み、先行き不透明な厳しい経済・雇用情勢が続いています。

国内の経済情勢同様、本村においても基幹産業である農林水産業や二次産業である製造、建設、建築の各業種ともに、かつて経験したことのない経営環境の悪化に苦慮している状況です。

このような中であって、小・中学校の教育環境の整備や第三セクターによる新会社の設立、地域密着型特別養護老人ホームの新設、かけての前期5カ年計画にあつては、事業総数233事業、事業費総額108億8000万円となりました。

後期計画における進捗よく状況は192の事業計画に対し186事業に着手あるいは完成をみるなど、現時点での実施率は96・8割という状況です。未実施などの事業については、評価を加えながら対処していく考えです。

#### (2) 新計画の策定

地方自治体における総合計画の位置付けは、地方自治法に基づき「その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して基本計画や実施計画を策定し、行政運営を推進していくというものです。迎える新年度は、現行計画の評価を行い、23年度から32年度までの向こう10年間の「基本構想」と前期5カ年の「基本計画」の策定に取り組みます。

新しい計画に盛り込む村づくりの基本構想は、現行計画の基本理念である「参加・協働・創造による村づくり」の考え方を発展させ、今定例会に提出している「田野畑

村協働のむらづくり基本条例」に基づく、「村民、議会、行政の協働による自治の推進」を根底に据えた、活力ある田野畑村の姿を描き出したものにしたいと考えています。

### 地域活力の再生

地方の多くは、長く低迷した地域経済と少子高齢化の状況下にあります。中でも少子化と青壮年層の減少は地域活力の低下を招く大きな要因となっています。本村でも、人口減少と少子高齢化の進行という社会の大きな潮流を食い止めることはできず、今日に至っている状況です。

そのような中であって、わたしは自治会などにおける地域活力の再生が最重要課題であるとの認識から、地域住民の方々が親交を深め、地域コミュニティ活動を活性化させることができるようなソフト事業の展開に努めてきました。

新年度は、これまでの住民自治活動確立支援事業費助成を拡充した「協働による村づくり推進事業」を創設し、村民の皆さんのさらなる協力を得ながら、地域コミュニティ活動の支援を通じた足腰の強い地域活力の再生・構築に努めていく考えです。

協働のむらづくり基本条例

ご案内のとおり住民自治は、地域住民の自己決定と自己責任により地域の総合力を発揮する地域主権の発動、すなわち地域住民による地域住民のための地域自治です。わたしは、行政分野でまだ一般的ではなかった当時から、今後の村づくりは住民が主体となった新しい住民自治、あるいは住民と行政の協働が必要だと考え、その具体的な施策の展開に努めてきました。

地域づくりや村づくりは、村民・地域・行政・議会など、地域や村を構成するすべての人と組織が互いに協力して行動すること、すなわち住民自治と協働によつて成し遂げなければならぬというのが、わたしの基本的な考え方です。

「田野畑村協働のむらづくり基本条例」は、本村のこれまでの多様な住民自治と協働の実践を踏まえ、この活動の精神を将来ともに揺るぎないものとし、かつ、自立した田野畑村を構築していくためにぜひとも必要な規範として制定しようとするもので、今議会に提案したところです。村民ならびに議員各位のなお一層の理解と協力をお願いします。

教育の振興

いよいよ本年4月1日を期して統合小学校による教育活動が開始されます。新年度を期して新しい時代に生きる児童・生徒の育成が本格的に行われることとなります。が、小学校統合や閉校にあたっては、保護者や地域の皆さんの理解と協力にあらためて感謝を申し上げますとともに、新・田野畑小学校の開校につきましても協力をよろ



4月6日に開校式を迎える田野畑小。190人の児童が元気に学ぶ

しく願っています。

学習環境がこれ以上ない形で整ったことから、田野畑小学校、田野畑中学校においては、新しい学習指導要領に沿いながら、小・中学校が学校経営理念を共有し、義務教育9年間を見通した一貫性のある教育活動を展開することに。よって、郷土・田野畑村を愛し、心豊かで、賢く、たくましい、志をしっかりと持った児童・生徒の育成を期待するものです。なお、環境整備を進めてきた中学校については、10月末ころにグラウンド整備が完了し、すべてを終了することになっていきます。

社会教育においては、新年度に23年度から向こう10年間の「生涯学習振興計画」を策定することになっていきます。この計画は、村民との協働による村づくりの具体的な実践を担う重要な計画です。これまでの生涯学習関連事業の実施状況を評価し、村民の皆さんの英知を結集して計画策定にあたる考えです。

学校教育、社会教育ともに村民の皆さんの理解と協力、そして多くの村民の参加なくしては充実、発展できないものですので、村民ならびに議員各位の理解と支援をお願いします。

(1) 公共事業の減少

経済対策

20年度までの10年間における公共事業費は、県にあっては約3分の1に、村にあっては約4分の3(76.5%)に減少しています。新政権となった政府は、公共事業削減の方針を打ち出していることから、今後ますます事業量、事業費の減少は避けられないものと思われま

村は、このような状況に対処するため、公共事業の早期発注や国が経済危機対策として数次にわた



旧校舎を取り壊しグラウンド整備が進む中学校

ところです。

公共事業の減少により、これまで、村の経済をけん引してきた建設業界の経営が心配されますが、複数の建設業者にあつては、受注量の減少をカバーし今後の経営と雇用の安定確保を図る観点から、異業種である農業などに参入の道を模索し挑戦している事業所が現れています。他産業の転換に対しては村としても支援しながら誘導していきたいと考えています。

(2) 雇用の場の創出

世界的な経済不況などの影響を受け、本村経済も次第に活力を失い、ここ数年で複数の事業所が閉鎖、休業などの事態に追い込まれ、就業の場を失うなど誠に残念な事態となっています。

多くの村民の皆さんから、村内での雇用の場の創出が喫緊の重要課題であるとの意見や要望をいただき、この村政課題をなんとか解決しようと努めてきました。

その結果、すでにご案内のとおり沼袋地区に特別養護老人ホームが建設され、この4月に運営を開始することで準備を進めています。また、6月に菌メーカーの企業を誘致し、キノコ栽培を目的とし

た第三セクターも近々操業開始することとなっています。

さらには、このほど浜岩泉地区に小学校校舎を活用した自動車などの部品製造会社の企業誘致の条件が整い、この3月2日に就業者40人規模の田野畑工場設立の調印式を行ったところであり、これら3事業所で新たな雇用・就業の場が整うこととなりました。

今後においても雇用の場の創出・拡大に努め、村民の経済の安定を図りたいと考えています。

予算編成の方針

村は、15年から17年までの第4次行政改革、そして18年からの行政改革プランの取り組みによつて、歳入・歳出の均衡を考慮した健全な財政運営に努め、16年度から継続したプライマリーバランス

(※注)を堅持しているところです。本村の財政状況は、歳入においては、景気低迷などの影響により依然として村税などの自主財源の伸びは期待できない状況です。財源の中枢を占める地方交付税にあっては、地方財政計画の特別枠「地域活性化・雇用臨時特例費」の創設や臨時財政対策債の増額によりある程度の伸びは期待できるものの、国において、22年度に精算



第三セクター「サンマッシュ田野畑」を21年6月に設立。菌床シイタケの製造販売などを行います(資料写真)

あるいは償還予定であった交付税財源を24年度以降に繰り延べることで決定しており、将来において地方交付税の減少が懸念される状況です。

一方、歳出においては、人件費や公債費などの義務的経費は、行政改革プランの取り組みなどによって減少しているものの、現下の厳しい経済情勢や少子高齢化の進行に対する事業展開など、多様化している行政ニーズに対応した多くの需要が見込まれています。

このような状況をかながみながら、新年度の予算編成にあたっては、総合計画および4期目の村長

就任にあたり昨年9月の村議会定例会で所信表明した、雇用の場の拡大、少子化対策などの当面する村政課題の解決のための施策実現に意を配したところです。

予算編成にあたっては、新規事業の財源は既存事業の廃止・縮減・組み替えなどによって対処すること、真に村民が必要とする事業を選択し、厳しい優先順位を定めること、健全な財政運営を継続するため行政改革の推進とプライマリーバランスを堅持することともに、公営企業などへの一般会計繰出金の削減を行うこと、などの基本方針で臨んだところです。

平成22年度の主要施策

村政運営の基本方針および予算編成の方針に加え22年度の主要施策について、前段の経済対策と併せ、当面する村政課題に重点的に取り組む施策6項目に絞って、その概要を申し述べます。

重点1 活力に満ちた産業の振興

まず、「活力に満ちた産業の振興」についてです。

一次産業については、新規事業として新規就農者実践研修支援事業補助や振興野菜生産推進事業補助を設け、継続事業と併せてハウレンソウやシイタケの産地化形成に向けて取り組んでまいります。また、草地造成にかかわる補助事業や畜産振興総合対策事業、乳質向上対策事業などによって畜産振興を図ってまいります。

林業では、田野畑村豊かな森づくり事業や森林整備加速化・林業再生交付金事業を継続実施し、民有林、公有林の間伐を進めます。



体験型観光メニューのさらなる充実を図ります

水産業では、定置網復旧支援資金などの利子補給や信用保証料補助、平井賀漁港地域水産物供給基盤整備事業などのソフト、ハードの事業によって漁業者の経営安定と水産基盤整備に継続的に取り組めます。

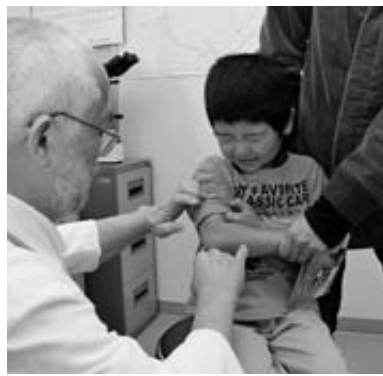
本村の基幹産業であるこれら農林水産業は、担い手の高齢化と後継者不足が進行し、産業構造が弱体化してきていることから、重要課題である担い手対策と一次産業の総点検、産業団体の経営体質強化などに取り組みながら、活力に満ちた農林水産業の振興が図られるよう努めます。

二次産業では、商工業者に対する中小企業振興資金の融資と利子補給の実施、新規雇用事業所に対する雇用促進奨励金の助成などにより、厳しい経営環境の改善を支援していく考えです。

観光産業では、新・田野畑村観光振興計画（ステップアッププラン）に沿って、村のトータル的な観光推進力アップのための基盤づくり施策を展開するとともに、これまで構築してきた体験型観光メニューのさらなる充実や教育旅行の受け入れを増やすなどの対応を図るほか、海洋の持つ多面的資源の観光活用可能性についてその実証事業を取り進めます。

重点2 雇用対策から定住対策へ

雇用対策については、先にも申し述べたとおり、新年度に新たに運営・創業を開始する特別養護老人ホーム、キノコ栽培を目的とした第三セクター、自動車部品などの製造会社の3事業所の誘致などにより、大きな就業の場の確保ができたところです。雇用対策につ



中学生までの医療費無料化など子育てに優しい村づくりを進めます

いては一定の見通しができたところですが、次なる対策は事業所で求める人材確保や定住対策に関する新たな観点での施策の展開が求められる状況へと課題がシフトしてきています。

中学生までの医療費の無料化、放課後こども教室推進事業などの子育て支援策にかかわる継続事業に加え、保育料の無料化、父子家庭医療費助成事業、子育て支援健康栄養指導事業などの新規施策を実施し、子育て環境に優しい条件整備を促進するとともに、村営住宅などを活用した定住確保を図るための施策を展開し、人口流出の歯止めや村出身者のUターン促進などに取り組んでいく考えです。

重点3 少子高齢化社会への対応

国内が少子高齢化と人口減少傾向にある中、本村でも同様に少子化が顕著となってきたというほか、3人に1人が高齢者という超高齢化社会を迎えています。人口減少や少子高齢化の進行は、耕作放棄地や荒廃山林を増大させるのみでなく、地域コミュニティの活力を衰退させる大きな要因です。

まず、少子化対策ですが、本村でも社会環境の変化とともに核家族化や共働き世帯が増加しており、多様な保育需要に対応した児童福祉施策の展開が求められてきています。これに対処するため、これまで行財政改革や住民自治活動の推進によって村民が生み出した財源を振り向け、子育て支援施策の充実を図ってきました。

新年度は、これまでの少子化対策、児童福祉施策に加え、新規に不妊治療費の一部を助成する特定不妊治療費助成事業や乳幼児個別歯科保健指導事業などを実施する考えです。

また、保育需要の多様化や児童館入園児の減少などを総合的に勘案し、よりよい保育環境を提供するために23年度に児童館・へき地



住み慣れた地域で安心して健康的な生活ができるように支援します(写真ははつらつ交流会)

保育所を統合することとし、新年度に統合施設の建設に着手することで準備を進めているところと併せて、保育にあたる親の経済的負担を軽減するため、他市町村に先駆け、新年度から保育料の無料化を図ります。

今後とも、安心して産み育てることができるとともに、細かい児童福祉施策の展開に努めていく考えです。高齢者福祉施策については、今後さらに高齢者世帯や一人暮らし世帯の増加が予想されることから、シルバーサポーターの配置などを通じて住み慣れた地域で安心



災害時の消防機能の充実も図ります

工区や下閉伊北区域農用地整備事業による岩泉町・普代村間の農用道路については、計画期間内の完成が図られるように努めていきます。

村内の幹線道路などについては、田野畑平井賀線の改良や沼袋田代線の改良に伴う詳細設計と用地測量などを行うとともに、道路橋長寿命化修繕事業により橋の修繕計画を策定するなど、安全で快適な路線などの適切な維持管理に努めます。

漁港建設事業では、平井賀漁港地域水産物供給基盤整備事業による沖防波堤の築造を実施するなど、計画的な漁港建設を進めていきます。

「安全な地域づくり」については、ですが、村民の生命や財産を守るためには、特にも幼児期からの交通安全や防災、自然災害などに対する意識を高めることが大切です。警察、消防などの関係者の協力を仰ぎ、交通安全教育や防災知識を習得する機会を確保に努めていきます。

消防団員の確保については、就業構造の変化などの要因もあり、防災・災害救助などの中核を担う団員確保が困難になってきている状況をかんがみ、新年度には田野畑村消防団に「機能別消防団員制度」を導入し、災害時における消

### 重点6 安全な村づくり



急カーブ急こう配の続く国道45号尾肝要道路1日でも早い完成を目指し関係機関に働き掛けます

防機能の充実強化を図るとともに、団員が勤務している事業所と消防団の連携、協力体制を強化し、消防団活動の一層の強化を図るため、「消防団協力事業所表示制度」を導入することとしています。また、消防田野畑分署の高規格救急自動車を新たに整備するとともに、分署建物を新たに整備するための建築設計業務を計画しているところです。

県営事業である島越地区の津波防潮堤かさ上げや島の沢水門改修については、関係機関と連携して事業の進捗よくを図ります。

■22年度の予算規模（全会計） 【単位：万円】

区分	22年度	21年度	伸び率	
一般会計	31億3200	33億1450	-5.5%	
特別会計	国民健康事業	5億3521	5億3873	-0.7%
	保険会計 直営診療	1億4840	1億5219	-2.5%
	簡易水道会計	7643	7856	-2.7%
	老人保健会計	17	68	-75.1%
	集落排水会計	5676	5257	8.0%
	下水道会計	3437	3340	2.9%
	介護保険事業	4億5093	3億542	47.6%
	会計サービス	80	40	100.3%
	後期高齢者医療会計	2677	2750	-2.7%
	小計	13億2984	11億8944	11.8%
合計	44億6184	45億394	-0.9%	

医療の確保については、村診療所での医療・歯科診療と併せ、病診連携の強化を図りながら、保健・医療・福祉施策の総合的な対応を図っていきます。また、現状では、医療の中核となる県立病院の医師確保が必ずしも万全ではないことから、県のドクターヘリ導入に併せ、村内にドクターヘリポイントの実現について調査検討をしたと考えています。



既存の特別養護老人ホームの施設介護サービス提供に加え沼袋地区に建設された施設での入所サービスも始まります

「道路などの社会資本整備の推進」については、言うまでもなく道路は、日常の村民生活に密着した社会資本であるとともに、救急医療、経済、文化、観光などのあらゆる活動に欠くことのできない最も重要な社会資本です。しかしながら、県内でも、とりわけ県北・沿岸地域は道路などの社会資本整備が遅れており、本村もまだ十分とは言えない状況です。

国の新政権による公共事業削減

### 重点5 道路などの社会資本整備の推進

の動きはありますが、今後の国の動向を注視しながら真に必要な道路などの社会資本整備を強く働き掛け、その整備促進に鋭意努めます。

本村に身近な国道45号「中野バイパス」は新年度秋ごろに供用開始の予定であり、三陸縦貫道路「尾肝要道路」については、新年度にトンネルに本格着工できるように全力で関係機関に働き掛けます。また、県道田野畑岩泉線室場

して健康的な生活を送ることができるよう支援していきます。

また、要介護者に対する既存の特別養護老人ホームでの施設介護サービスの提供に加え、新年度に新たに運営を開始する特別養護老人ホームでの入所サービスの提供が可能となることから、1人でも多くの入所待機者の解消が図られ、併せて家族の皆さんの心労の解消が図られるよう願っています。なお、元気で就業意欲のある高齢者の皆さんには、今後ともシルバー人材センターなどを通じてできるだけ多くの就業機会の確保を図るよう努めます。

次に、「情報通信基盤整備の推進」についてです。

昨年10月に普代田野畑中継局から地上デジタル電波が本格送信されたことに伴い、すでに受信されている人もあることと思いますが、まだ改修が済んでいないテレビ共同受信施設については、新年度内の早い時期に国と村の補助を充て、順次改修を進めていきます。個々の世帯についても、新たな難視聴世帯が発生しないよう戸別に電波状況調査を実施するなどの方

法により、万全の対応を期していくこととしています。また、携帯電話の通話エリア拡大については、新たに猿山・七滝・室場・千丈・細沢の5地区に伝送路（光ファイバー）を引き、鉄塔を整備することで、秋口の供用開始を目指して対処しているところです。

これらの情報通信基盤整備は、若者の定住促進あるいは災害時などの通信手段ともなるものであり、1日も早い完成に向け鋭意努めたいと考えています。

### 地上アナログ放送は平成23年7月24日に終了します

地デジ放送が始まっています。地デジ対応のテレビやチューナーを持っている人は、ぜひお試してください。

◆問い合わせ先…政策推進課（☎34-2111 内線63）、またはデジサポ岩手（☎0570-07-0101）

# 組織を再編

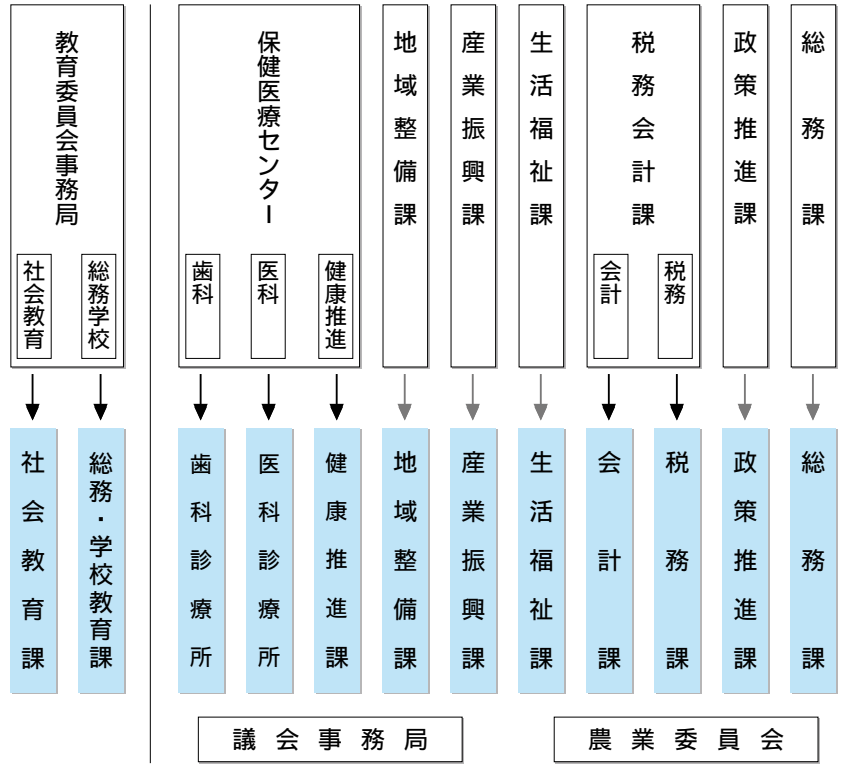
8課2診療所  
教育委員会は2課に

重点施策を着実に実施

村は4月1日から役場の組織を機構改革し、これまでの村長部局6課1センターを8課2所に再編します。また、教育委員会事務局を2課に再編します。機構改革は、村の重点施策を着実に実施し、多様化する行政の仕事に的確で効率的に対応することを目的としています。

3月31日まで

平成22年4月から



## 結びに

以上、22年度の主要施策の概要について申し上げますが、これらに要する予算総額は一般会計で31億3200万円となり、前年度当初予算比5・5割の減となりました。また、特別会計を含めた全会計では44億6200万円となり、前年度当初予算比0・9割の減となったところです。

本年度は、小学校統合、そして中学校寄宿舎廃止後の初年度です。特に新・田野畑小学校に通う児童が新しい環境の下で明るく伸び伸びとした学校生活を送れるよう通学対策などの教育環境の充実に

万全を期していきます。

少子高齢化の進行に伴う福祉施策の拡充や地域活力の増進施策、地域経済の低迷に対処するための産業振興対策など、対応しなければならぬ村政課題は多岐にわたっています。今後とも村民との対話を重視し、行政ニーズに的確に対応する行政運営を心掛け、村政をけん引していく所存です。

22年度が田野畑村の村勢発展に大きな足跡を残せる年度となるよう、村民の皆さんならびに議員各位の村政運営に対するなお一層の理解と支援を心からお願ひ申し上げます。所信表明とします。



# 22年度 人事異動

## 村職員

### ◆総務課

総務班主任主査—大澤喜男、同事主—大澤広美

### ◆税務課

課長—奥地弘武、税務班主任主査—久保豊、同事主—横山順一、川畑勝也、金子和也

### ◆会計課

会計管理者兼会計課長—下机美枝子、会計班主任主査—平坂礼子

### ◆生活福祉課

課長—畠山正、福祉班主任主査兼生活環境班主任主査—佐藤俊一、福祉班主査—工藤隆彦、福祉班主事—晴山美恵子

### ◆産業振興課

主幹—熊谷吉秀、産業振興班主事—熊谷諒

### ◆地域整備課

上下水道班主事—工藤真樹

### ◆健康推進課

課長兼診療所事務長—穂高正実、地域包括支援センター班主査兼保健班主査—久保朋子、支援センター班主任看護師兼診療所診療班主任—畠山洋子、保健班主任栄養士—佐々木貞子、同保健師—小野寺洋美、三田地千穂

### ◆総務・学校教育課

課長兼給食センター所長—和山敏治、総務・学校教育班主任主査—畠山淳一、同事主—三河卓江、平坂聡

### ◆社会教育課

課長—坂本真知夫、主幹—工藤ヒロ、社会教育班主査兼社教主事—

### ◆異動転出者

分署長—工藤久也(消防本部)、消防第2係長—和山勝富(宮古消防署)、消防第3係長—似内義友(岩泉消防署)、消防士長—山口淳(山田消防署)、消防士—松本俊輔(宮古消防署)、元田利喜(宮古消防署)

### 広域消防

※村職員の詳しい配置や担当業務などは、4月15日に配布予定の「平成22年度職員配置」をご覧ください

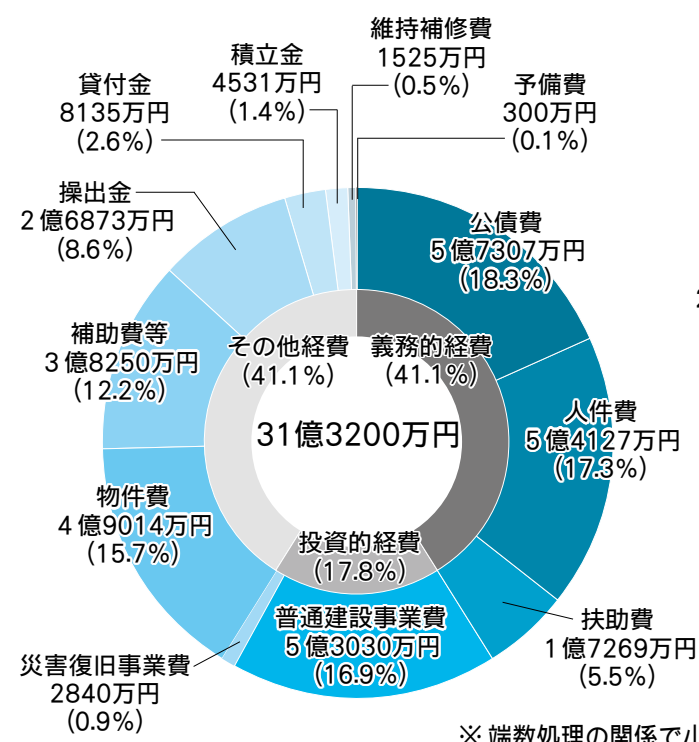
### ◆議会事務局

議会議事事務局主幹兼農業委員会事務局主幹兼選挙管理委員会事務局主幹兼監査委員事務局主幹—熊谷和広

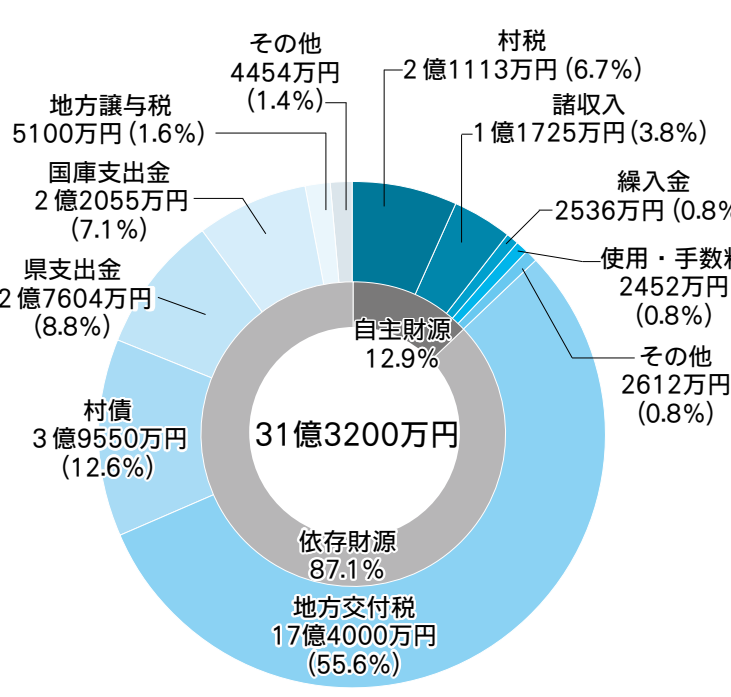
### ◆農業者代表

畠山哲、社会教育班主任—畑山正明、同学芸員—安達尊伸

■歳出 (22年度一般会計)



■歳入 (22年度一般会計)



※ 端数処理の関係で小計に若干の差があります

ありがとう ぼくたちの学校  
さようなら わたしたちの学校

田野畑、沼袋、羅賀、机、浜岩泉、島越  
村内6つの小学校が閉校の時を迎えた  
100年以上続いた歴史と伝統を  
今、静かに終えようとしている  
でも、終わりではない

さあ、とびらを開こう

閉校は新たな始まりの瞬間

子どもたちの笑顔を待つ所がある

6校の歴史はこれからも受け継がれる

新生・田野畑小学校で、ずっと、ずっと――

そして 新しい学びやへ

沼袋小134年の歩み		
明治	9	沼袋小学校創立（古庵寺借用）
	12	甲地・田代簡易小学校開校
	13	公立沼袋小学校と称す
	20	沼袋簡易小学校と改称
	25	沼袋尋常小学校と改称 （甲地・田代簡易小は分教場に）
大正	3	田代分教場廃止
	14	新校舎落成（沼袋保育所付近）
昭和	16	沼袋国民学校と改称
	17	甲地分教場を本校へ併合
	22	村立沼袋小学校と改称
	37	児童在籍数最高（285人）
	41	現校舎落成
	42	校章・校旗制定
	50	創立100周年記念式典
	53	校歌制定
	62	文化庁委嘱文化財愛護活動推進
	平成	3
7		創立120周年記念式典 文部省指定伝統文化教育推進校
9		県教委指定環境教育推進校
15		複式指導等改善巡回講座会場
18		運動大好き岩手っ子研修会場
20		東北PTA連絡協議会会長表彰受賞 日本PTA全国協議会会長表彰受賞

**沼袋小学校校歌**  
詩 佐々木永吉  
曲 佐々木初朗

山の緑に かこまれて  
空は明るい 春の日に  
小鳥の音が ひびくとき  
みんな元気で はげもうよ  
われら沼小 仲間たち

川に映った 白い雲  
はぎの花咲く 山あいに  
雉がはばたく この丘で  
みんな元気で 伸びようよ  
われら沼小 仲間たち

世界に続く 青い空  
光る白樺 風の歌  
おういと呼ぼう 校庭に  
みんな元気で 手をつなぐ  
われら沼小 仲間たち



①思い出を語る会の最後は児童や地域の人などが手をつなぎ校歌を大合唱  
②児童や保護者、地域の人など約190人が沼袋小の閉校を惜しんだ  
③沼袋小の最後を迎え惜別の涙を流す保護者  
④石岡教育長(右)に校旗を返納する早川校長(中)と東優花児童代表  
⑤38年間続いた甲地剣舞の伝承活動



# 沼袋小学校

長年続けた親子読書や甲地鹿踊の伝承活動  
夏はプール、冬はスケート学習も

沼袋小学校の閉校式は3月6日、村内小学校閉校式のトップを切って開かれました。午後1時から行われた式には全校児童14人、保護者、教職員、地域住民、村関係者など約190人が出席しました。

村長式辞、教育委員長告辞に続き、早川幸男校長は「教育愛にあふれる沼袋小の地域ぐるみの教育は、誇りとしていつまでも語り継がれ、新生田野畑小にその心は受け継がれると確信しています」と述べました。

全校児童が「学校は無くなった、わたしたちは沼袋の子でもです。豊かな自然と温かい愛情に包まれたこの沼袋で育ったことを誇りに思います。わたしたちと地域、今と昔をつなぎ続けた沼袋小ありがとう」と呼び掛けを行うと、会場は目頭を押さえる姿やすり泣く声に包まれていました。

最後に、早川校長、児童代表の東優花さん(6年)が石岡三郎教育長に校旗を返納し、134年の歴史を閉じました。

閉校式前には、校庭脇に建てられた記念碑の除幕式も行い、児童や統廃合推進実行委員会員などが記念碑前で校歌斉唱。

閉校式終了後に開かれた「思い出を語る会」は、甲地鹿踊保存会による「甲地鹿踊」と全校児童による「甲地剣舞」がオープニングを飾りました。旧職員らは久しぶりに見る勇壮な舞に大きな拍手を送っていました。

保存会の吉塚恭次さん(24)は「沼小で甲地鹿踊を舞うことができるのはこれが最後。いつも以上に気合いが入りました」と額の汗をぬぐっていました。

語る会の最後は、出席者全員で校歌を斉唱。ステージ上では全校児童と教職員、地域住民などが手をつないで大合唱し、会場はこの日一番の大きな歌声と惜別の涙に包まれました。

沼袋小は明治9年に創立。郷土芸能「甲地剣舞」の伝承活動や親子読書活動に力を入れてきました。創立からこれまでの卒業生は約2200人です。



**沼小への感謝込め上手にできた合唱**  
児童会長 東 優花さん

閉校式には、昔の先生方や卒業生、地域の人たちなどたくさんの方が出席しました。涙を見せる人もいて、みんなが沼小が無くなることを悲しく思っているようでした。呼び掛けや合唱は沼小への感謝の気持ちをいっぱい込めて上手にできました。4月から中学生。沼小で学んだたくさんの方の事を生かして「沼っ子」として頑張ります。

**歴史と伝統の重み再認識した閉校式**  
PTA会長 菊池 裕彦さん

閉校式と語る会を終えて、あらためて沼小の歴史と伝統の重みを感じました。134年の歴史どの年を見ても、それぞれが素晴らしい年だったことでしょう。式に出席していただいた恩師や地域の皆さん、あるいは出席できなかった皆さんの思いを結集した閉校式だったと思います。「校史134年 ありがとう沼小 学び舎は心のふるさと」

**甲地剣舞伝承など沼小の伝統と誇り**  
校長 早川 幸男さん

地域ぐるみの運動会や沼小祭り、PTAの親子キャンプ、20年以上継続してきた親子読書感想文集「沼っ子」、昭和46年によみがえった「甲地剣舞」の伝承は、沼小の伝統であり誇りです。子どもたちは、沼袋小という大切な学びやを「心のふるさと」として、新たな一歩をしっかりと力強く踏み出してくれると信じています。

**今後も沼っ子たち地域で育てていく**  
統廃合推進実行委員会 実行委員長 佐々木菊三郎さん

閉校の時をむかえ、数々の思い出がよみがえります。沼袋地区民のよりどころとして、地域と共に歩んで歴史と伝統を引き継ぎできました。134年の歴史は、地区民にとって忘れてはならないことで、心の中にしっかりと残さなければなりません。そして、今後も沼袋の子どもたちを地域で育てていかなければならないと決意しています。





# 浜岩泉小学校



教育課題に真っ正面から取り組んだ138年  
弥五兵衛の心引き継ぐ創作太鼓も



浜岩泉小138年の歩み	
明治	5 創立（和山庄助氏の家屋借用） 猿山分校開校（熊谷由次郎氏宅一室を借用）
	22 村立浜岩泉小学校と改称
大正	11 浜岩泉実業補習学校が併設
	15 校舎移転（真木沢77）
昭和	10 高等科併設により浜岩泉尋常高等小学校と改称
	16 浜岩泉国民学校と改称
	22 浜岩泉小学校と改称 田野畑中学校浜岩泉分教場が併設
	31 新築移転（大芦52） 校章、校歌を制定
	47 創立100周年記念式典
	49 中学校浜岩泉分校を廃止
	54 第4回岩手日報へき地教育賞受賞
平成	63 校舎新築、屋内体育館完成
	1 猿山分校 県教育委員会63年度「さわやか賞」受賞
	4 猿山分校 県書写道教育研究会の書写道作品コンクールで連続12回学校賞受賞
	10 浜岩泉地区森林愛護少年団「成長の森」発足
	14 猿山分校閉校式（4月本校統合）



- ① 全校児童39人は迫力ある弥五兵衛太鼓で校舎に感謝を伝えた
- ② 最後の校歌斉唱は会場中が惜別の涙に包まれた
- ③ 中田校長から石岡教育長に校旗が返納された
- ④ 県PTA連合会から浜岩泉小PTAへ、長年の活動に敬意を表して感謝状が贈られた
- ⑤ 児童や中学生、保護者など約150人が浜岩泉小の閉校を惜しんだ

浜岩泉小学校の閉校式は3月13日に開かれました。午前10時15分から行われた式には全校児童39人、保護者、教職員、地域住民、村関係者など約150人が出席しました。

村長式辞、教育委員会告辞に続き、中田直雅校長は「教育振興運動で長年取り組んできた親子読書活動は、読書ボランティアグループの立ち上げにもつながりました。学校・家庭・地域が一体となり教育課題に真っ正面から取り組んだ姿は、皆さんの心の中に深く刻まれ語り継がれるでしょう」と述べました。

全校児童の呼びかけに先立って、思い出の写真がスクリーンに映し出されると、会場は目頭を押さえる姿やすり泣く声に包まれました。呼び掛けでは「地域の先人、切牛・弥五兵衛が僕たちに伝えてくれた努力する心、決してあきらめない心、みんなのためを思う心を引き継いで、弥五兵衛太鼓を誕生させました。卒業して田野畑中に行っても、新しく生まれる田野畑小に行っても、浜岩泉小で学んだ心を忘れずに、一生懸命頑張ります」と決意を大きな声で伝えました。

弥五兵衛太鼓も披露され、迫力ある演奏に会場からは大きな拍手が送られました。最後に中田校長、児童代表の熊谷新吉さん（6年）が石岡三郎教育長に校旗を返納しました。

浜岩泉小は明治5年、村内の小学校で一番早く創立。以来、地域と共に138年の歴史を歩んできました。この間、昭和54年「岩手日報へき地教育賞」の受賞、昭和63年度「さわやか賞」の受賞など数々の素晴らしい成果を残してきました。これまで巣立った卒業生は1600人以上です。

## 浜岩泉小学校校歌

詩 齊藤 立一  
曲 和久井 昇

岸に寄せる 黒潮の  
におい清らに 芽ぶく松  
さかまくしぶき 身にあびて  
越えるはるかな 海のはて  
広い希望が よんでいる

遠く連なる 山なみに  
光さやかに わたる風  
あなたも僕も 手をとりて  
進むゆくてに すばる星  
高い理想が 呼んでいる

朝船出の 声ひびき  
夕べ畑に 星を見る  
輝く村の 伝統を  
学び働き うけつが  
明日の歴史が 呼んでいる

## ありがとう浜小 ～感謝のメッセージ～



### 一地域住民として 田野畑小の支えに

閉校事業実行委員会  
実行委員長  
熊谷 章さん



明治5年に開校した浜小もいよいよ138年の歴史に幕を下ろします。開校は東北地方の中では最も早く、地域の人たちが教育に対して熱い期待を込めていたと感じます。閉校は残念ですが、村の教育活動の充実と発展、子どもの成長を考えると致し方ないと思います。わたしも地域民として、新生田野畑小の支えになりたいと思います。

### 村内一の長い歴史 楽しい日々永久に

校長  
中田 直雅さん



村内一長い歴史を誇る浜小。築き上げてきた伝統は、新しい田野畑小で一層輝きを増すことでしょう。浜っ子たちが浜小で学んだ日々を心に深く刻み、未来に向かい成長してくれることを期待しています。素直で明るく優しい子どもたち。学校のために汗を流してくださった地域の方々。浜小で過ごした楽しい日々は永久に忘れません。

### 伝統や思い出は 心の中に永遠に

PTA会長  
金澤裕次郎さん



自分の中では木造校舎のイメージしかなかったのですが、校舎が新しくなっても校庭の桜は、ずっと子どもたちを見守っていてくれました。思い出の詰まった母校が長い歴史に幕を下ろすのは残念で寂しい限りです。でも、これまで築き上げた伝統やそれぞれの思い出は、心の中にしっかりと刻まれ、大切な財産として永遠に残るでしょう。

### 浜小の勉強生かし 中学校でも頑張る

児童会長  
熊谷 新吉さん



浜小で6年間、毎日楽しく遊んだり勉強をしました。浜小のいいところはみんなが明るく、仲が良いことです。浜小で勉強したことやあいさつは、これからとても役立つと思っています。自分が卒業する学校がなくなるのは、やっぱり悲しいけど、浜小で勉強してきたことを生かして、中学校でも頑張ります。今まで本当にありがとう。



### 津波など乗り越え 心のよりどころに

閉校事業実行委員会  
実行委員長  
工藤 求さん



わたしが子どものころ、太平洋の果てまで届けとばかり大きな声で歌った校歌。その校歌を今、孫たちが歌っています。島小は津波などの災害を乗り越え、地域住民の心のよりどころとしての役割を果たしてきました。島小は閉校しますが、子どもたちは整った環境の中で大勢の仲間と協調して一生懸命勉強してほしいと思っています。

### 島小の歴史と伝統 引き継ぎ発展する



校長  
小原 節子さん

島小が脈々と歴史を築き上げながら発展してこれたのは、地域の皆さんの子どもに対する愛情と学校に寄せる期待がいつの時代も根底にあったからだと感じます。地域から元気な声が消えてしまうことは寂しいですが、島小の歴史と伝統は「新生・田野畑小」に引き継がれ、新たな時代の発展に生かされていくと確信しています。

### 思い出の多い校舎 島小は地域の象徴



PTA会長  
三浦 明治さん

地域のシンボルとして存在し続けた島小。いよいよ130年の栄光ある歴史に幕を下ろすときが来てしまいました。春は校庭の桜が満開になり、冬は校庭でスケート…。振り返ってみれば思い出がたくさん詰まった校舎でした。この天下に誇れる島小の歴史と伝統が、未永く語り継がれていくことを心から願っています。

### 最後の校歌を地域 みんなで歌え幸せ

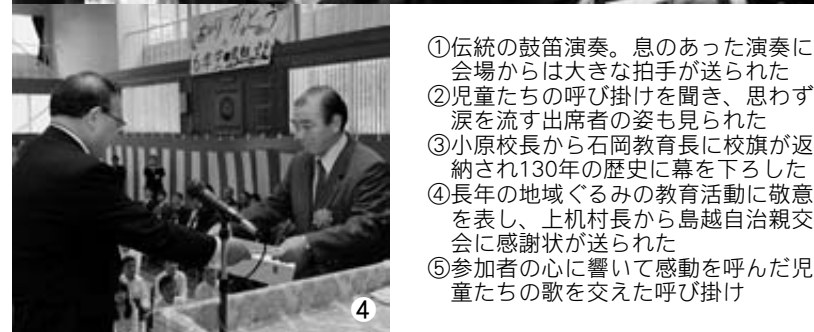


児童会長  
菊地 柚太さん

島小で過ごした6年間、楽しい思い出がいっぱいです。そんな島小も閉校なので、僕たちが最後の卒業生になってしまいました。やっぱり悲しい気持ちもあるけど、中学校に入学するのが今から楽しみです。大好きな校歌をもう歌えないのがとても寂しいけど、最後に地域の皆さんと一緒に歌うことができうれしかったです。

### ありがとう島小

～感謝のメッセージ～



- ①伝統の鼓笛演奏。息のあった演奏に会場からは大きな拍手が送られた
- ②児童たちの呼び掛けを聞き、思わず涙を流す出席者の姿も見られた
- ③小原校長から石岡教育長に校旗が返納され130年の歴史に幕を下ろした
- ④長年の地域ぐるみの教育活動に敬意を表し、上机村長から島越自治親交会に感謝状が送られた
- ⑤参加者の心に響いて感動を呼んだ児童たちの歌を交えた呼び掛け

ありがとう島越小。さようなら島越小」とリコーダーの音色に乗せて呼び掛けると、会場の参加者たちは惜別の涙を流していました。

最後に小原校長、児童代表の菊地柚太さん(6年)が石岡三郎教育長に校旗を返納。全員で最後の校歌斉唱を行い、たくさんの思い出が詰まった校舎に別れを告げました。

閉校式終了後は会場をホテル羅賀荘に移して「思い出を語る会」に参加した約100人全員で記念撮影をし、閉校の記念となりました。

島越小は明治13年に創立。海を生かした体験学習活動や鼓笛隊、よさこいソーランにも取り組んできました。現存している資料では、昭和10年から現在まで、約1200人の卒業生を送り出しています。



# 島越小学校

## 津波などの災害乗り越え住民の心のよりどころ 「鼓笛隊」や「よさこい」にも取り組んだ

島越小学校(小原節子校長、児童37人)の閉校式は3月20日、午前10時から同校体育館で行われました。式には全校児童や保護者、教職員、地域住民、村関係者など約180人が出席し、思い出が詰まった母校との別れを惜しみました。

村長式辞、教育委員会告辞に続き、小原校長は「これまで地区民が一致協力して、歴史と伝統を絶やさず、島越の教育を守り育ててきました。今、島越小は静かにその役目を終えようとしています。子どもたちは閉校に向け、さまざまな行事や学習をしっかりと締めくくってきました。校名・校舎は消えても、引き継がれてきた学びの精神と歴史は、心の中に生き続け、語り継がれると信じています。そして児童の皆さんは、島越小の素晴らしさを胸に深く刻み、新しい学校での生活に励んでほしい」と

あいさつ。

全校児童の呼び掛けは鼓笛演奏で入場。「うれしかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、つらかったこと。すべてこの校舎に詰まっている。たくさんの人たちが通った島越小。そして今日が最後の日。あ

島越小学校校歌  
詩 青木松太郎  
曲 佐々木サキ

真向かいに ああ太平洋  
そびえ立つ 緑の校舎  
ひるがえる 日の本の旗  
なごやかに 気高く清く  
島越 我が学舎

コイコロベ 化石の眠り  
年古りて 億を数うる  
松島の 少名毘古那の  
翁より 伝う漁  
よき郷土 我が島越

島越小130年の歩み		
明治	13	公立島越小学校創立
	19	島越簡易小学校と改称
	33	浜岩泉尋常小学校島越分校となる
大正	4	校舎新築移転
	15	島越尋常小学校に昇格 島越実習補修学校併設
昭和	10	高等科を併設
	17	島越国民学校と改称
	22	島越小学校と改称 田野畑中学校島越分校併設
	27	校舎新築移転(島越209)
	43	校章制定
	54	現校舎落成 創立100周年記念式典
	55	子ども銀行優良校として県表彰受賞
	58	学校保健調査優良校として文部大臣賞受賞
	59	「教育情報いわて」県教育長表彰受賞
	60	アメリカリッチモンド市教育視察 団来校
平成	6	村教委指定学校公開研究会(算数)
	13	村教委指定学校公開研究会(国語)
	17	県社会福祉大会表彰
	19	村教委指定兼県小規模複式学校教育 研究大会学校公開



# 机小学校

地域全体で学校支えた120年  
「学校ワカメ」を販売して図書など購入

机小学校閉校式は3月20日、午後1時30分から同校体育館で行われました。式には全校児童26人や保護者、教職員、地域住民、村関係者など約200人が出席し、思い出詰まった母校との別れを惜しみました。

村長式辞、教育委員会告辞に続き、畠山文雄校長は「机小の児童はまじめで学力が高く、運動能力に優れています。6年生5人全員が所属した田野畑ニューウェーブ(野球少年団)が全国大会に出場したことも、特筆されることです。田野畑村にはかつて日本人が持っていた思いやり、優しさ、正直さ、結いの心が残っています。これこそが地域の一歩の宝です。家族や地域が大切に守ってきたこの心を机小に学ぶ子どもたちが受け継ぎ、村の発展に貢献しようとする心を持つことを念願しています」とあいさつ。

全校児童は「大好きだった思い出の校舎。集団登校で僕たちを迎えてくれた鐘の音、たくさん遊んだ体育館、すべての場所が思い出でいっぱいです。地域の皆さんから温かく見守られ、机小で素晴らしい時を過ごせました。新しい学校に行っても机小のことを忘れずに頑張ります。ありがとう机小」と呼び掛け。

最後に畠山校長、児童代表の有谷拓夢さん(6年)が石岡三郎教育長に

校旗を返納。全員で最後の校歌斉唱を行い、思い出が詰まった校舎に別れを告げました。

閉校式終了後に開かれた「思い出を語る会」は、児童たちによるハンドベルの演奏と合唱でオープニング。静まりかえった会場にハンドベルの澄み切った音色が響き渡り、ゆったりとした時間が流れました。式では保護者や地域の人たちが校歌や応援歌を高らかに歌い、会場が一体となりました。

机小は明治23年に創立。スポーツや学習活動で優秀な成績を収めてきました。村立机小(昭和29年)になつてからの卒業生は533人です。

## 机小学校校歌

詩 鈴木 省次  
曲 坂下 久子

ここ三陸の一勝地  
しゃくなげ薫る 岬まえに  
大峰山の 勇姿背に  
きざんと立てる 我が学舎  
ああれい明の 時告ぐる  
鐘をつかばや いざわれら  
強く正しく 励みゆく  
机健児が 双肩に  
のう使命を 果さでや  
のぞみは遠く いざわれら  
ああつかの間も ゆるぎなく  
はげみ進めや いざわれら

机小120年の歩み			
明治	23	田野畑尋常小学校机分教場となる	
大正	6	羅賀尋常小学校机分教場となる	
昭和	16	羅賀国民学校机分教場となる	
	23	羅賀小学校机分校となる	
	29	村立机小学校となる	
	30	校歌制定	
	39	児童在籍数最多(昭29年以降)102人 6学級単式学級となる	
	44	校章制定	
平成	59	机・北山崎自然愛護少年団結成 第1回海大会開催	
	61	校舎・体育館新築	
	62	羅賀小学校区池名区が机小学校区となる	
	3	机小学校創立100周年記念事業 校門、国旗掲揚塔完成	
平成	5	東北地区へき地教育研究会等会場校	
	7	平成6・7年度村教委指定学校公開研究会(算数)	
	11	「成長の森」植樹祭	
	14	平成13・14年度村教委指定学校公開研究会(総合)	
	16	勲章手県学校給食会会長賞受賞	
	18	PTA・教育振興運動実践協議会による 花壇整備	
	平成	20	県書写書道教育研究会学校賞受賞 平成19・20年度村教委指定学校公開研究会(算数)



- 校歌が刻まれた記念碑の前で児童や地域の人たちが声高らかに校歌斉唱
- 思い出を語る会のオープニングは児童のハンドベル演奏。澄み切った音色は地域の人たちの心に染み渡った
- 村から北部自治振興会へ長年にわたる学校支援の感謝を込めて感謝状が贈られた
- 万感の思いで校歌を歌う出席者たち
- 上机村長も校歌を歌い母校に別れを告げた

## ありがとう机小 ～感謝のメッセージ～



思い出は「海大会」  
机の海で楽しんだ

児童会長  
有谷 拓夢さん

机小での一番の思い出は「海大会」です。みんなと協力しているいろいろな経験ができたし、机の海を目いっぱい楽しめました。校舎も校歌も全部大好きな学校なので、無くなるのはとても寂しいです。最後の校歌斉唱は、寂しい気持ちと感謝、これからも机小のことを忘れずに頑張っていこうという気持ちを込めて歌いました。



これまでどおりに  
机らしさを発揮して

PTA会長  
向井 泉さん

毎朝、子どもたちの集団登校で聞こえていたクマよけの鈴の音が聞こえなくなると、やっぱり寂しいです。複雑だけど、子どもたちのことを考えれば、統合は仕方ないですね。閉校式を終えて、あらためて地域の人たちにこれまで支えられてきたと感じました。子どもたちには、今までどおり机らしさを出して頑張ってもらいたいです。

## 地域で学校支えた 良い伝統の継承を



閉校事業実行委員会  
実行委員長  
上村 繁幸さん

机地区に生まれ育ち、親も子も机小で学びました。机小の良さは、地域全体で学校を支えていることです。学校で使う図書などを購入するために、児童と保護者が机浜で天然ワカメを探り「学校ワカメ」として販売したこともありました。児童の健全育成のため、みんなが進んで協力する伝統は、統合しても継承されると信じています。

## 勤勉さと人の良さ 誇りをいつまでも



校長  
畠山 文雄さん

3年前、机小に赴任したときの第一印象は、住民の勤勉さと人の良さでした。北山崎を有する本学区は、豊かな自然に恵まれています。この美しいながらも厳しい自然の中で、人々の心には長い歴史によって培われた思いやりと助け合いの精神が受け継がれています。この誇りと宝を机小の子たちが受け継いでくれることを願っています。



羅賀小学校(市村章校長、児童27人)の閉校式は3月21日、午前10時から同校体育館で行われました。式には全校児童や保護者、教職員、地域住民、村関係者など約250人が出席し、会場に入りきれない人が玄関まであふれました。

村長式辞、教育委員会告辞に続き、市村校長は「たくさんの皆さんに出席いただき、あらためて羅賀小に対する思いの大きさや本校の歴史の重み、地域と学校の素晴らしさを感じます。地域で学び育てられたことや培った力と太洋の子精神で子どもたちは活躍してくれると確信しています。皆さんには、地域の良さをいつまでも失わず、宝である子どもたちを見守り、そして鍛えてほしいです」と述べました。

全校児童は「我ら太洋の子。校舎は変わっても羅賀小で学んだ誇りを胸に、未来につながる今を精いっぱい生きることを誓います。大好きな羅賀小。すべての卒業生の思いを込めて、ありがとう羅賀小」と羅賀小への感謝とこれからの決意を力強く呼び掛けました。

最後に市村校長、児童代表の晴山海さん(6年)が石岡三郎教育長に校旗を返納。全員で最後の校歌斉唱を行い、たくさんのお出が詰まった校舎に別れを告げました。

閉校式終了後に開かれた「思い出を語る会」のオープニングは、児童たちによる大宮神楽。3、6年生21人が鮮やかな衣装をまとい勇壮な舞を披露すると、会場からは大きな拍手が送られました。

羅賀小は明治9年に創立。郷土芸能「大宮神楽」の伝承活動や海を生かした体験学習活動などを行い、「太洋の子」の育成に取り組みできました。創立からこれまでの卒業生は2000人以上です。

羅賀小134年の歩み	
明治	9 公立羅賀小学校創立(大澤他人氏宅借用)
	19 羅賀簡易小学校と改称
	25 北方校舎新築(羅賀須賀)
	29 三陸大海嘯により校舎完全流出
	30 校舎新築(羅賀75)
大正	33 村尋常小学校羅賀分教場と改称
	6 校舎新築(羅賀183) 羅賀尋常小学校と改称
昭和	8 三陸大津波来襲(死亡児童7人、被災児童50人)
	9 現在地に校舎新築(羅賀129-3)
	16 羅賀国民学校と改称
	22 村立羅賀小学校と改称
	29 池名冬季分校を開設(33年から通年設置)
	45 現校舎落成
	49 青少年赤十字結成・登録
	51 創立100周年記念式典
	59 県へき地教育研究大会・村教委指定学校公開研究会 村ふるさと運動として「大宮神楽」伝承活動開始
	62 池名分校閉校、机小学校へ統合
平成	5 東北・県へき地教育研究大会
	8 文部省指定伝統文化教育推進事業発表会
	14 羅賀海づくり少年団結成

羅賀小学校校歌  
詩 山中 吾郎  
曲 千葉 了道

とわに つきせぬ 海の幸  
岩手わかめの 名も高く  
千鳥のえいし 水産の  
羅賀の 学びや わがまもり  
海の気魄を 培わん  
広き心を 育くまん

大地に ねむる 山の幸  
ほまれも 高き 国立の  
原始の宝庫 開拓の  
羅賀の 学びや わがほこり  
山の気品を 培わん  
高き心を 育くまん



## 長年にわたり受け継がれた大宮神楽の伝承 「太洋の子」の精神はこれからもずっと



### ありがとう羅賀小 ～感謝のメッセージ～

#### わたしの人間形成 原点は「羅賀小」

閉校事業実行委員会  
実行委員長  
前原 京二さん



羅賀小が無くなるというのは、とても信じられない気持ちです。「閉校」という言葉の響きも気持ちの良いものではありません。わたしが今、この地域で生活できていること、人間形成をしてくれた原点は「羅賀小にある」と信じています。村の小学校が一つになります。進む方向を一つに新たな歴史に向かい力強く踏み出しましょう。

#### 「太洋の子」の精神 これからもずっと

校長  
市村 章さん



羅賀小が閉校しても子どもたちの心の中で、歴史と「太洋の子」の精神はこれからも継続され発展していきます。これは、同窓生や地域の皆さんも同じではないでしょうか。地域で子どもを鍛える文化、支え合う良さをいつまでも失わず、地域の宝である子どもたちを見守っていただきたいと思います。「たくましい太洋の子」いつまでも。



#### みんなの仲が良く 校庭では鬼ごっこ

児童会長  
晴山 海さん

羅賀小は仲が良く、いつもみんなで鬼ごっこをしながら校庭を走り回りました。6年間毎日通った大好きな羅賀小学校が閉校するのは、とても悲しいです。学習発表会は毎年楽しくて、一番の思い出です。最後の校歌は「ありがとう」の気持ちを込めて歌いました。羅賀小で学んだことを生かして、中学校でももっと頑張りたいです。



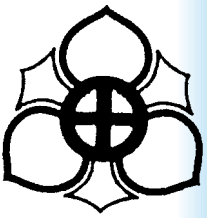
#### 閉校は残念。でも 羅賀の子は永久に

PTA会長  
早野 円さん

地域の「文化の中心」であり、わたしたち地域住民の「心のよりどころ」であった羅賀小が閉校することはとても残念です。しかし、「羅賀の子」は永久に尽きることはありません。「たくましい太洋の子の伝統と精神は、これからも脈々と受け継がれていくことを確信しています。「とわにつきせぬ太洋の子」に幸あれ。



①語る会のオープニングを飾ったのは児童が羅賀小で舞う最後の大宮神楽  
②式の最後は全員で校歌を歌い、思い出が詰まった校舎に別れを告げた  
③市村校長から石岡教育長に校旗返納  
④「我ら太洋の子、大好きな羅賀小ありがとう」と全校児童が呼び掛け  
⑤児童の呼び掛けに耳を傾け、じっと聞き入る地域の皆さん



# 田野畑小学校

## 東北大会にも出場したスクールバンド

### 菅窪鹿踊の伝承活動も続けてきた



①

田野畑小134年の歩み		
明治	9 田野畑尋常小学校創立（菅窪の民家一部借用）	
	13 公立田野畑小学校と改称	
	19 田野畑簡易小学校と改称	
	25 田野畑尋常小学校と改称（羅賀・七滝簡易小は分教場に）	
大正	3 校舎移転（田野畑133-1）	
	昭和	2 校舎新築移転（田野畑133）
		3 田野畑尋常高等小学校と改称
	4 七滝分校を新築移転	
	16 田野畑国民学校と改称	
	22 村立田野畑小学校と改称	
	平成	36 校舎新築移転（田野畑136）校歌制定
		41 文部省指定道徳教育公開研究会
		42 屋内運動場新築完成
		51 創立100周年記念式典、校章制定
63 スクールバンド結成 七滝分校閉校		
4 吹奏楽コンクール東北大会出場		
9 現校舎落成		
11 国民文化祭・ぎふ'99「子ども芸能発表会」出演（菅窪鹿踊発表）		
18 田野畑小学校130周年記念式典		
19 独立行政法人日本スポーツ振興センター「学校安全優良校」表彰		

田野畑小学校の閉校式は3月21日、同校体育館で開かれました。午後0時10分から行われた式には全校児童75人、保護者、教職員、地域住民、村関係者など約250人が出席。村長式辞、教育委員会告辞に続き、松村仁校長は「田野畑小の歴史には勉学や運動、文化活動など、素晴らしい活躍があります。先輩たちが多くの情熱と時間を注ぎ、苦しさを乗り越え、それを大きな喜びに変えながら築き上げてきたものを『自分たちも』という熱い思いと強い気持ちを持ち続け、今日まで努力を積み上げ、確かな成果として継承してきました。まさに伝統と呼ぶにふさわしい姿です」とあいさつ。

一人の思い出がいっぱい詰まった学校。学ぶことの楽しさや人を思いやる心、どんなことにも負けないたくましい体を育んでくれた学校。いつもわたしたちを温かく見守ってくれた学校。さようなら、僕たちわたしたちの田野畑小学校」と呼び掛けを行い田野畑小への感謝の気持ちを伝えました。最後に松村校長、児童代表の阿部柊也さん（6年）が石岡三郎教育長に校旗を返納し、会場全員で最後の校歌斉唱を行い134年の歴史に幕を下ろしました。閉校式後には、校舎前に建てられた記念碑の除幕式も行われました。

新たな田野畑小が切磋琢磨の場所に  
閉校事業実行委員会 実行委員長 佐々木秀純さん



道に込めた思いは心に生き続けます  
校長 松村 仁さん



6小学校の歩みを未来へと続く道に  
PTA会長 畠山 哲さん



校舎前に立つ記念碑「道」。村内6小学校の歴史は幕を下ろしますが、各学校の歩みは途絶えることなく続いていきます。次の世代を担う子どもたちに引き継がれ、一本の道となって未来へと続きます。わたしたちPTAは、これまで以上に子どもたちの学びを支え、見守りながら、この道と一緒に歩んでいきたいと思ひます。

記念碑「道」に込められている「これまで歩いてきた道を振り返り、これから始まる新しい道をしっかり歩み前進して行こう」という姿は、これまで田小を巣立った卒業生の心に生き続けています。これから新たな旅立ちを迎える子どもたちもきっと同じでしょう。力強く歩み出す子どもたちに、これからも力添えをお願いします。

新たな田小が地域の中に存在する田野畑地域民としては、正直なところ閉校という実感が現実としてわいてこない部分もあります。しかし、他の5校は地域の皆さんにとって心のよりどころだったでしょう。新しい学校が恵まれた教育環境の中で、村内から集まる感性豊かな子どもたちによって、切磋琢磨の場になることを願っています。



ありがとう田小  
～感謝のメッセージ～

鹿踊りとスクバン 一生懸命頑張った  
児童会長 阿部 柊也さん

田小の6年間、みんなと仲良く遊ぶことができたし、勉強も楽しくできました。菅窪鹿踊やスクールバンドの伝統をしっかり引き継ごうと一生懸命頑張りました。修学旅行は村内全部の6年生と一緒に、夜はいっぱいおしゃべりをして楽しかったです。村内の小学校が一つになっても、みんなで仲良くやっていけると思っています。



②

**田野畑小学校校歌**  
詩 岩見 対山  
見坊 イト  
曲 樋口 達彦

海原はるか 上る日の  
明るい光 仰ぎつつ  
うら若草は 育ちゆく  
白亜輝く 学びやに  
のびよわれらの 田野畑小学校

岩が根洗う 谷川の  
清い調 高らかに  
励ましこめて ひびきくる  
たゆまぬ心 ひとすじに  
永遠に輝け 田野畑小学校

山のかなたに わく雲の  
雄々しい姿 眺めつつ  
学び励もう もろともに  
清く明るい 世をめざし  
生きよ正しく 田野畑小学校



④

③



⑤

- ①語る会のオープニングはスクールバンドの演奏。迫力の演奏にアンコールも飛び出した
- ②児童と地区民が一つになり校歌斉唱
- ③児童や地域の人が見守る中、記念碑の除幕式も行われた
- ④阿部児童代表から松村校長へ、そして石岡教育長に校旗が返納された
- ⑤全校児童による歌を交えた呼び掛け

アンコール演奏も行いました。田野畑小は明治9年に創立。昭和54年から続く郷土芸能「菅窪鹿踊」の伝承活動は、村内のみならず全国でもその勇姿を披露してきました。また、63年に結成し22年の歴史を持つスクールバンド活動は、県大会や東北大会への出場のほか、11年間続けている歳末コンサートなど、地域に根ざした音楽活動も繰り広げてきました。昭和16年に田野畑国民学校と改称してからの卒業生は約1800人です。



石岡 三郎 村教育長

新生・田野畑小  
いよいよ開校です  
6小学校それぞれの  
良さを引き継いで  
特色ある学校に

村民の皆さんと各小学校の校長先生や教職員の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら準備を進めてきた新生・田野畑小が、いよいよ開校の運びとなりました。村の宝である子どもたち一人一人を大事にした教育が始まります。

新生・田野畑小はこれまでの6小学校を閉校し、村内唯一の新設小学校として開校されます。これは、村全域を学区とする県内でもあまり例のない小学校統合です。

これまでの6小学校は130数年の歴史をそれぞれが持ち、保護者や地域の皆さんに支えられながら、特色ある教育活動を展開し、明るく元気の良い、しかも高い学力を備えた子どもたち

ちが育てられてきました。6小学校のそれぞれの良さを引き継ぎながらも、新生・田野畑小ならではの特色ある学校経営が大いに期待されます。

また、村内の小学校と中学校がそれぞれ1校ずつとなったことから、義務教育9年間を視野に入れた一貫性のある教育活動によって、学習指導や生徒指導、あるいは各種行事や体験活動などでの連携や深まりが期待されます。

学校と家庭、地域、村が一体となって新生・田野畑小の経営を支え、子どもたちの健やかな成長を見守っていききたいと思います。



上机 莞治 村長

学校に寄せる思いの深さを感じた閉校式  
新生・田野畑小開校  
子どもの成長を共に  
見守りましょう

村は、小学校の統合について平成14年度から準備を進めてきました。村教育施設検討委員会を設置して検討を重ね、19年3月議会において統合が決定しました。そして22年4月、6小学校を1校に統合する時がきました。

統合を決める大きな要因には少子化や各校舎の老朽化という問題もありました。しかし、わたしは、一定の児童数や学習環境が整った中で、村の宝である子どもたち一人一人にレベルの高い義務教育を提供し、志をしっかりと持った賢くたくましい田野畑の子どもたちを育てたいという思いの方が強くありました。

各学校の長い歴史と伝統、数々の成果、立派に育ち村内外で活躍する卒業生の皆さんや子どもたちのことを考える

と、学校を閉じることは断腸の思いです。しかし、閉校は次なる前進や成長、発展を期するためのスタートです。

子どもたちが各小学校で学び、身に付けた自信と誇りをもち、さらにたくましく賢く成長する場所に、新生・田野畑小がきつとなるはずですが、各小学校の閉校式に出席して、皆さんが学校に寄せる思いの深さを感じました。閉校式を終えて強く感じるのには、子どもたちが早く新生・田野畑小に慣れ、6地区の保護者も一体となることが大事ということだと思います。それに向かい村も最大限努力します。

新生・田野畑小の開校。地域の皆さんもこれまでと同様に学校を支え、協力し、子どもたちの成長を見守っていただくようお願いいたします。



## 新生 田野畑小 に集う元気な笑顔 平成22年度 新1年生 将来の夢



そらくん (島越)

アイドルになりたい



なるみちゃん (初生)

あいどる



うみくん (尾肝要)

あなうんさー



こころちゃん (曾達)

おかしをつくるひと



ひろとくん (天声)

しょうぼうし



いつくん (島越)

バスのうんてんしゅ



こころちゃん (田地)

十一きやさん



みゆきちゃん (真木沢)

アイドルになりたい



あいかちゃん (猿山)

けきおさん



なぎさちゃん (曾達)

あいどるがしゅ



さえちゃん (村外へ)

アイドルになりたい



ゆうたくん (島越)

だいしさん



みずきくん (天声)

カニクレーンのうんてんしゅ



いぶきくん (七瀬)

くるまをなおすひと



きょうかちゃん (羅羅)

ほいくし



ゆうたろうくん (天声)

おいかのわちやさんです



みゆちゃん (真木沢)

おはなやになりたい



みらいちゃん (島越)

おはなやさん



めいちゃん (和野)

もてる



よしこちゃん (千丈)

ペットショップ



農林水産大臣賞を受賞した作品「家族総出」と撮影者の磯崎さん(写真提供：洋野町)

### フォトコンで農林水産大臣賞

平成21年度農山漁村男女共同参画活動いきいきフォトコンクールで、島越漁港のワカメボイル作業を撮影した作品が農林水産大臣賞を受賞しました。「家族総出」と題された作品は、家族の総力を上げて生き生きと作業する情景が評価されての受賞です。撮影したのは洋野町の磯崎孝男さん(68)。磯崎さんは「三鉄で宮古まで行く途中、浜の煙が見え三鉄を飛び降りました。初めて見る光景に夢中でシャッターを押しました」と撮影時の様子を話していました。

### 田中から47人が新たな道へ

田野畑中(佐々木毅校長、生徒121人)の卒業式は3月12日、同校体育館で行われ、47人の卒業生が学びやに別れを告げました。卒業生は、下北地区陸上競技大会で3年連続の総合優勝を果たし、文化祭では三閉伊一揆を題材にした創作劇で感動を与えてくれました。卒業生を代表して須藤秀祥君が「多くの出来事が、田野畑中で過ごした大切な思い出です。60年間の伝統と1年間で築き上げたこの田野畑中は、卒業生の誇りです」と答辞を述べました。



これまでの感謝を込め、涙をこらえながら合唱する卒業生

### 若桐寮41年の歴史に幕引き

中学校寄宿舎・若桐寮(佐々木毅舎監長、寮生30人)は3月11日、巣立ち式と閉寮式を行い、41年の歴史に幕を下ろしました。巣立ち式では卒業する10人の3年生一人一人に、根木地俊機代表舎監が激励のメッセージを読み上げ、色紙を手渡しました。閉寮式には、在寮生のほかOBや旧舎監など約130人が出席。全寮長の畠山拓海君(2年)は「寮で学んだことは心の支えです。決して忘れることはありません」と若桐寮への別れを告げました。



最後の巣立ち式で根木地代表舎監から激励の色紙を受け取る卒業生



調印を終え、握手する上机村長と永塚社長(中央は田山清宮古地方振興局長)

### 浜小校舎に岩手アライが進出

自動車部品などの製造を手掛ける岩手アライ(株)(永塚勝己社長、岩泉町小本)が、3月末で閉校する浜岩泉小の旧校舎に田野畑工場を設置することになり、3月2日にホテル羅賀荘で企業立地協定書調印式を行いました。田山清宮古振興局長が立ち会い、上机村長と永塚社長が協定書に調印。永塚社長は「地域社会との融和と協調で地域活性化に貢献したい」とあいさつ。工場は、体育館部分が5月に稼働、校舎部分は6月以降に順次稼働する予定です。



上机村長から修了証を受け取る受講生

### 介護研修終え8人が新たな道

介護職員基礎研修課程(村雇用創造推進協議会主催)の修了式は3月5日、保健センターで行われ、8人の受講生が上机荒治村長から修了書の交付を受けました。受講生の小野寺美香子さん(36)＝七滝＝は「会社や家族の協力で無事に終えることができました。感謝の気持ちを含めながら頑張っていきたいです」と決意を話していました。講師を務めた畠山とし子保健医療センター事務長は「研修は終わりましたが、ここが始まりです」とエールを送りました。

### 思い出胸に19人が田高卒業

岩泉高校田野畑校(木村毅校長、生徒36人)の卒業式は3月4日、同校体育館で行われ、19人の卒業生が思い出と希望を胸に学びやを巣立ちました。在校生の坂上将平君が「皆さんの姿は常にわたしたちのあこがれであり自慢でした」と送辞。卒業生の熊谷広地君が「これからの人生は田野畑校で学んだことを思い出し、目の前の壁から逃げずに勇気を出して立ち向かっていきます」と涙ながらに答辞を述べると、会場は涙をぬぐう人たちであふれました。



お世話になった先生や後輩たちに感謝のエールを送る卒業生たち

# お知らせ

人口と世帯	火災
3月1日現在( )は前月比	(2月20日～3月19日)
人口 4,028人 (-6)	火災の【今月】 1件
男 1,974人 (-4)	発生件数【今年】 1件
女 2,054人 (-2)	無火災の連続
世帯1,447世帯 (-3)	記録(3月19日現在) 1日

## 村からのお知らせ

### 「空き屋バンク」に登録を

【政策推進課】住居として使用していない家屋などのうち、賃貸借や売買が可能な物件の情報をお寄せください。

寄せられた情報は「空き屋バンク」に登録し、移住・定住希望者などへ紹介するために利用させていただきます。

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線64)

### 課税台帳を縦覧します

【税務課】「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。土地売買や家屋の取り壊しがあった場合、台帳内容が訂正されていないと誤って課税されることがありますので確認をお願いします。

◆縦覧期間…4月1日(木)～30日(金) (※土日祝日を除く)

◆縦覧時間…午前9時～午後5時

◆縦覧場所…役場税務課

◆問い合わせ先…税務課 (☎34-2111 内線31)

### 狂犬病の予防接種を行います

【生活福祉課】狂犬病の予防接種を行います。どの会場でも接種できますので、忘れずに受けてください。

4月15日(木)		4月16日(金)	
受付終了時間	地区・場所	受付終了時間	地区・場所
9:10	猿山・猿山バス停	9:00	千丈・地区公民館前
9:35	大芦・牧原商店前	9:20	甲地・三沢バス停
10:00	浜岩泉・地区公民館前	9:40	甲地・細沢バス停
10:30	真木沢・地区公民館前	9:55	甲地・佐藤幸蔵氏宅前
11:00	切牛・望洋館前	10:10	甲地・地区公民館前
11:25	島越・黎明館前	10:25	沼袋・旧フクゼン前
11:40	島越・佐々木金一氏宅前	10:45	田代・地区公民館前
13:10	羅賀・平井賀バス停	11:25	巢合・地区公民館前
13:25	羅賀・羅賀児童館前	11:40	尾肝要・地区公民館前
13:45	明戸・地区公民館前	11:55	板橋・地区公民館前
14:05	池名・地区公民館前	13:40	西和野・農協裏の広場
14:30	机・拓心館前	14:10	和野・民宿藤波の前
14:50	北山・北山崎入口付近	14:40	菅窪・畠山正一氏宅前
15:45	田野畑・地区公民館前	15:30	七滝・地区公民館前
16:00	田野畑・四方見山公園	15:50	七滝・鉄山口バス停付近

※時間は受付終了時間です。時間を過ぎたら次の会場に移動します。10分くらい前には到着する予定ですが、遅れる場合もあります。訪問注射を希望する人は、4月12日(月)までに生活福祉課に電話してください

◆料金…注射のみ3,100円、登録と注射6,100円(訪問注射は1,000円加算)

◆注意事項…①登録済みの犬の場合「平成22年度狂犬病予防注射票交付者個票」が事前に郵送されますので、当日必ず持参ください ②新たに登録する場合は、犬の種類や毛色、性別、名前、生年月日などを係員にお知らせください

◆問い合わせ先…生活福祉課 (☎34-2111 内線23)

## 診療所からのお知らせ

診療所は4月1日から毎週水曜日の午後が休診となります。

※休診日…水・土の午後日・祝日

## 「協働」推進する委員募集

【政策推進課】村は、住民と行政との協働による地域づくりと自立した住民自治活動をさらに推進するため、住民の主体的な地域づくりと具体的な取り組み方策や行政への政策提言などを協議する「協働による地域づくり推進委員会」を設置しています。この委員会の一般公募委員を次のとおり募集します。

◆応募資格…村内に在住する20歳以上の人

◆募集人数…若干名

◆募集期間…4月1日(木)～15日(木)

◆応募方法…電話で応募してください

◆応募・問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線61)

## 土地の立入りにご協力を

【政策推進課】村は、携帯電話鉄塔整備のため、5月上旬から国道、県道、村道、私有地にある既設電柱などに光ファイバーケーブルを順次敷設します。私有地に立ち入るの工事を行いますので、協力をお願いします。また、道路では片側交通規制などが行われますので、通行には注意してください。

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)

## 三鉄に乗って商品券ゲット

【政策推進課】三陸鉄道への年間乗車100万人を目指して、村は本年度も「たのはたラッキートレイン・乗って得する三鉄カード」を発行します。田野畑駅か島越駅で、宮古駅または久慈駅までの往復券(ただし割引券は対象外)を購入するとスタンプ1個がもらえ、5個たまると特典と交換できます。



◆特典…スタンプ5個で、たのはたスタンプ会の500円商品券1枚を進呈

※先着400枚で交換終了

◆カード発行・特典交換場所…田野畑駅、島越駅

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線64)

## ポリオ予防接種を行います

【健康推進課】ポリオ(小児まひ)は胃腸炎やまひが起り、一部の人には後遺症が残る場合がある病気です。海外ではまだ流行している地域があり、日本に入ってくる可能性もありますので、ワクチンの接種を受けましょう。

◆対象者…

①1回目…生後3カ月から1歳6カ月まで

②2回目…1回目終了後6週間から7歳6カ月まで

◆接種日…4月14日(水) 午後1時15分～1時30分(受付)

◆場所…診療所

◆問い合わせ先…健康推進課 (☎33-3102)

## タノくんバス 4月1日運行スタート

4月1日から、たのはた総合バス「タノくんバス」の運行が始まります。運行会社は東日本交通(株)です。

時刻表は3月中旬に各家庭に配布しています。運行時間や曜日など、事前に確認をお願いします。

特に火・木曜日に運行する普代駅行きや普代駅発のバスは予約が必要となりますので、注意してください。

◆予約・問い合わせ先…東日本交通(株)田野畑営業所 (☎34-2151)

## その他のお知らせ

### 岩手県に就職しませんか

【ふるさといわて定住財団】は、県内就職を希望する人を対象に就職面接会を開催します。

◆日時…4月14日(水)

午後1時～5時

◆場所…岩手産業文化センターアピオ(滝沢村滝沢字砂込389-20)

◆対象…平成23年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専門・専修学生、既卒者および一般求職者

◆内容…参加企業との個別面接やハローワークによる就職相談、県看護協会による看護職の就職相談など

◆問い合わせ先…【ふるさと】いわて定住財団 (☎019-653-8976)

## サンマッシュでパート募集

【株】サンマッシュ田野畑では、シイタケの収穫やパック詰め作業などのパート社員を随時募集しています。短時間パート希望者でも構いません。

◆募集人数・採用予定時期…

パート社員約20人 随時(段階的に人数を増やす予定)

◆作業内容…シイタケの収穫やパック詰めなど。女性向きの作業です

◆勤務場所…松前



沢地内(旧丸石商事田野畑工場跡)

◆給与など…時給650円～

◆応募方法…履歴書(写真付き)を郵送または持参してください。後日、面接の時間などを連絡します

◆応募・問い合わせ先…【株】サンマッシュ田野畑(☎028-8407 田野畑村田野畑143-1 役場政策推進課内 ☎34-2111 内線61) または田野畑工場長(青木☎090-1454-3768)

## リアス倶楽部で内覧会開催

特別養護老人ホーム「リアス倶楽部」では、内覧会を行います。この機会にお誘い合わせの上、ご来場ください。なお、内覧会以外の日でも見学できますので、お気軽にいらしてください。

◆日時…4月2日(金)～3日(土)

午前9時～午後4時

◆場所…特別養護老人ホームリアス倶楽部(旧沼袋小学校校庭)

◆問い合わせ先…特別養護老人ホームリアス倶楽部 (☎34-2201)



広報クイズ

問題の答えを、はがきに書いて、役場政策推進課(4月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 4月6日に開校式を迎える田野畑小。希望を胸に入学する新1年生は何人?  
A) 19人  
B) 30人

Q2 平成22年度の村の一般会計予算。前年度に比べてどうなった?  
A) 5.5%減った  
B) 5.5%増えた

Q3 3月11日、41年の歴史に幕を下ろした若桐寮。最後の卒業生は何人?  
A) 10人  
B) 30人

前号の正解

Q1→A、Q2→B、Q3→B

当選者(敬称略)

山崎ひて(北山)、牧原喜孝(大芦)、奥地正太郎(甲地)、熊谷正初(猿山)、中村志会之助(埼玉県)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況  
791万6,149円 (3月19日現在)

195件(村内53件、県内70件、県外72件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。政策推進課(☎34-2111 内線64)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：4月6日(火)~4月30日(金)

月日	曜	行事	場所	時間	問い合わせ先【情報の公開】
4月6日	火	田野畑小学校開校式	小学校体育館	10:00~	教育委員会
		春の交通安全キャンペーン	道の駅たのはた	16:00~17:00	総務課(内線12)
7日	水	中学校入学式	中学校体育館	10:00~	田野畑中学校(☎34-2001)
8日	木	小学校入学式	小学校体育館	10:00~	田野畑小学校(☎34-2050)
13日	火	沼袋保育所入園式	各保育所	9:00~	沼袋(☎34-2553) 机(☎33-2622)
		机保育所入園式		10:00~	
14日	水	田野畑児童館入園式	各児童館	9:00~	田野畑(☎34-2150) 浜岩泉(☎33-2220) 島越(☎33-2069)
		浜岩泉児童館入園式		10:00~	
		島越児童館入園式		11:00~	
		ポリオ予防接種	診療所	13:15~	健康推進課
15日	木	狂犬病予防接種	村内各地区を巡回(詳しい日程は31ページ)		生活福祉課(内線23)
16日	金				
21日	水	幼児健診	健診センター	13:00~15:30	健康推進課
25日	日	春の一斉清掃	各地区	6:00~8:00	生活福祉課(内線23)
30日	金	固定資産税1期、軽自動車税納期限	税務課		税務課(内線31・33)

役場 ☎34-2111 / 教育委員会 ☎34-2226 / 診療所 ☎33-3101 / 健康推進課 ☎33-3102

色・季節でひける花の事典820種  
金田 初代文

花名、花色、花言葉など、基本的な性質・特徴と管理の仕方など、820種の花を季節ごとに掲載。季節感を大事にした花壇と寄せ植えの作り方も収録。



もう一度中学3年分の数学が楽しく分かる! 中村 亨 監修

中学3年間で学ぶ数学のうちでも、特に大切な事柄を選び出し、その「考え方・仕組み」をしっかりと学べるようにわかりやすく解説。面白いほどよく分かる。



かぎ針あみのデイリーウェア  
日本ヴォーグ社

引き上げ編みのベスト、ラグランジャケット、後ろあきのキャミソール、半袖カーディガンなど、かぎ針で編む春・夏のデイリーウェアを紹介。



天地明察

沖方 丁 著

江戸時代、「日本独自の暦」を作ることに生涯をかけた男がいた。20年にわたる奮闘・挫折・そして恋。太陰暦を作り上げる計画を成長物語として描く。



フィールド古生物学  
大路 樹生 著

数十億年というタイムスケールで生物の進化などを追いついて「長時間軸の生物学」ともいわれる古生物学。その魅力を歴史上のエピソードを交え、わかりやすく紹介。



新着図書  
ご案内

パパッと作る園児のおべんとう  
光岡 郁子 編

冷凍食品や加工品をできるだけ使わず、短時間でできる園児のお弁当レシピを紹介。身近な材料で安心でかわいいお弁当が作れます。新米ママにお薦め。



おめでた おくやみ

[平成22年2月届け出分]  
(一部敬称略)

ご冥福をお祈りいたします

- 畠山 定藏 (63) 甲 地
- 橋本 タマ (83) 真木沢
- 工藤 信一 (86) 島 越
- 畠山 イサ (98) 菅 窪

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出ください

我が家前の桜は、昨年と同じくらいの3月25日前後には開花しそうです。近所ではハクレンが満開です。早春の香りがしています。3月6日の沼袋小開校式に出席した人から開校式の様子を聞きました。統合によって子どもたちが多くの人たちと接触できる機会が増えるということは、寂しさ以上に子どもの成長に夢が感じられます。

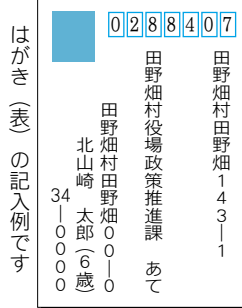
中村志会之助さん(埼玉県)

埼玉はもうすぐ春ですか。田野畑は3月24日、朝から雪降りです。閉校は確かに寂しいですが、早く新しい学校に慣れて、友だちをたくさん作ってほしいですね。(広報)

3月も残りわずか。年度末や年度始めで何かと心身共に疲れると思いますが、体には十分気を付けて、広報頑張ってください。

奥地正太郎さん(甲地)

お気遣い、ありがとうございます。正直、心身共に疲れていましたが、このはがきで元気になりました。皆さんに広報お届けできるように頑張りますね。(広報)



◆あて先・問い合わせ先:  
〒0288-8407  
田野畑村 田野畑 1-4-3-1  
田野畑村役場政策推進課  
(☎34-2111 内線64)

はがき(表)の記入例です

一部添削させていただく場合があります

みんなの  
ひろば

「みんなのひろば」は、皆さんから寄せていただいたお便りやイラストを紹介するコーナーです。広報クイズの答えと合わせて、広報の感想や日ごろの出来事、イラストなどははがきに書いて送ってください。寄せられた作品は、スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。

◆投稿するときの注意:

- ①はがきの表には:住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載を希望する人は、その旨を付けて加えてください
- ②はがきの裏には:クイズの答えとイラストや感想などを書いてください
- ③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません
- ④感想など、長い文章の場合、

文芸

今月の句

田野畑川柳会2月句会  
宿題「雑詠」より

- 小正月ミツキ団子が懐かしい ヒメ
- ストレスで折れそうな心でも生きる デコ
- 白銀にすべってころぶ年令の数 利志秋
- それぞれの訳ありゆっくり冬桜 タイ

★仕事は？

特別養護老人ホーム「リアス倶楽部」で事務員をしています。開設準備などで忙しい毎日です。

★出身は？

八幡平市の出身で、2年前にお嫁に来ました。

★村の印象は？

海と山の両方があり、お得な感じです。保育料も無料になるし助かります。お店がもっとあれば…。

★休日は何をしていますか？

1歳の娘と遊んだり、買い物に出掛けます。

★今、頑張っていることは？

仕事と家庭の両立ですね。今は子育てや家事など家族に協力してもらっています。落ち着いたら、新婚旅行を兼ねた家族旅行（海外）に行きたいですね。

★最後に一言お願いします！

なかなか、人の顔を覚えられません、どんどん話しかけてください。「リアス倶楽部」の見学にも、ぜひいらしてください。わたしがご案内します。施設もできたばかり、わたしもまだ田野畑になじんでいないので、施設と共によろしくお願いします。



佐藤美紀子さん (28) =西和野=



佐藤舞優ちゃん (1歳4カ月)

父・広為さん、母・真理子さん=机=

パパが大好き。いつもお兄ちゃんとけんかしながら、仲良く遊んでいます。明るくておてんばな子です。このまま明るく、元気に育ってほしいです。

わが家の  
アイドル



お母さんからの  
ひとこと



中村心海ちゃん (1歳3カ月)

父・房永さん、母・喜美子さん=羅賀=

おじいちゃんとイチゴ大好き。外に出たがり、玄関に行って靴を履いたりします。きょうだい一番元気な子です。健康できょうだい仲良く育てね。

編集ごぼれ話

快く取材に協力していただいた皆さん、そして広報を読んでいただいていいる皆さん、今月も無事に発行することができました。本当にいつもありがとうございます▼3月は小学校の閉校式、若桐寮の閉校式、卒業式や卒園式……。特に小学校の閉校式は全学校にお邪魔しましたが、地域の人や旧職員など、多くの皆さんが集まり、学校との別れを惜しんでいました。そして、感動の涙や寂しさの涙であふれていました。わたしの涙腺もほぼ全会場で全開状態。正直、泣き疲れました▼わたしの好きな歌に「そんなに泣かなくていいんだ、みんながいるから。君の涙はいつか優しい雨になり、きれいな花を咲かすのだから」という歌詞があります。子どもたちや地域の人たちが流した涙は、新生田野畑小が新たな歴史を築いていく恵みの雨にきつと変わると信じています▼4月は新たな出会いの季節。わたしもたくさんの人に出合えることを楽しみに、新年度も取材に走り回りたいと思います。(政策推進課 佐々木和也)